

畑日記

秋葉 健太

暖かかったり、寒かったりと気温の変化が慌しかったなど、なんとはなしに思った3月でしたが、ついに春到来！という陽気になってきましたね。こう暖かくなってくると、無駄に動きたくなる私は「こりゃ、ハウスの中よりも外で仕事したいな」などと、これからハウスに向かって仕事をしようとしている職員らしからぬ言葉を呟くことが何度かありました。それを聞いた奥さん、「草でも抜きますか？」と返してくれます。私の気質を分かった言葉は嬉しいですね。

しかしまあ、暖かくなってくるとハウスの内外問わず、これからに向けたいろいろな仕事が顔を出すようになりました。冬の寒さを乗り越えた宿根草たちは芽吹き始め、それらの土の入れ替えも絶賛進行中♪。また、落ち葉の切り返しも気温が上がったことにより、これまでよりも発酵の進み具合が段違いで、順調に進んでいる証拠である湯気がよく立ち上るようになってきました。先月号で触れた草ごみの山（通称”たたみ”）の湯気もすごく、順調に完成に近づいてきました。



切り返す度にこの湯気が出るのは、どこか達成感もあり、つい先日も野尻さんや大久保さんが落ち葉を切り返しているのに私も混じり、一緒に切り返しを行いました。いや～、楽しかった。

そろそろ、ハウスの中の仕事について触れましょうかね。まあ、ここのところのハウスは、いかに花を並べていくか。この命題に尽きるのではないかと、思います。というのも、今年も公園に植



え込む花の準備をしているのですが、それとは別に花苗の大量注文がありまして、その準備もしなければならず、例年以上に生産数が多いのです。昨年と比べて、数はざっと1000個は軽く超えています。限られたスペースに加え、場所によって日照度合も違うので、花を無駄なく適切に並べていくこと。これが肝心。あまり間隔を空け過ぎると、場所がなくなってしまうので、近すぎず離れすぎずのギリギリのところを丁寧に並べる

よう、皆さんにお願いしています。並べるのは川口さんや桑原さんなどをはじめ、最近では秀島さんも以前よりも上手になり、頼める人が増えてきたのですが、中でも花田さんや幸坂さんは綺麗に並べます。並べる時その場になかった人が出来栄をみて、「えらく上手だな、ここ」と思いほどこです。ちなみに、そこを並べたのは花田さん。しかしながら、それでも花苗を並べられるスペースは有限。もう並べるスペースが全然ありません。つまり、何が言いたいかと言いますと、葦の会のお花をたくさん買ってくれると嬉しいです♪というわけでして・・・(^_^)；

うららかな陽気の新年度早々、あまりに露骨な宣伝となりましたが、そんな私も今年で葦の会に入って気付けば5年目。今年の春はどこか浮ついた、変にワクワクしています。30 過ぎた男が何でこんなこと思っているのかな、と先日少し考えてみて、最初答えが出なかったのですが、ある時上記でも触れました「春の芽吹き」を実感した際に、「あ、これか」と。花のことも以前より分るようになってきて、芽吹きが身近なものになり、以前とは違った形で季節を楽しむようになったのかな、と思います。まだまだ、園芸の仕事は分からないことだらけですが、その”だらけ”をなくせるよう勉強は怠らず、適度にダラけつつ、皆と仕事を楽しんでいきたいな、というのがとりあえず今年度の抱負です。

